

2章 遺伝性疾患と奇形

1－遺伝

遺伝とは、形質が世代間で伝搬する現象

1. 遺伝子の働き

DNA→RNA→タンパク質

生物の形を規定したり、遺伝子発現を調節する。

2. 染色体

常染色体（44本）と性染色体（2本）の計46本

体細胞における（ ）の異常な再生は、がんの特徴の一つ。

2－遺伝性疾患

遺伝子病（単一遺伝子病、多因子遺伝病）

染色体異常（配偶子病）

1. 先天異常

遺伝子病、配偶子病、胎芽病（胎児病）

2. 遺伝病

伴性遺伝病、常染色体遺伝病（優性、劣性）

3. 染色体異常

数や構造の異常

21トリソミー・・・（ ）症候群

X染色体欠失・・・（ ）症候群

X染色体過剰・・・（ ）症候群

3－奇形

（ ）性の形態異常

1. 発生と病因

器官形成期における染色体異常、薬物、放射線、ウイルス、細菌、栄養等が病因。

2. 分類

重複奇形（二重体、双胎奇形）

単体奇形